



日本語教員養成課程

～実践力重視で日本語を教える専門家を育成～

本学の日本語教員養成課程は、日本をはじめ世界の様々な地域において、日本語に関する専門知識を活かし、日本語によるコミュニケーションの支援ができる人材を育てることを目指しています。例年40名～50名ほどの学生が本プログラムを修了しています。

- 外国語学部の学生が履修できます。
- 1年次から4年次までの4年間で、体系的に日本語教師に必要な知識と実践力を養います。
- 下記の修了要件を満たすと、卒業時に『日本語教員養成課程修了証書』を取得できます。

〈修了要件〉

必修科目20単位＋選択科目12単位 合計32単位

「社会・文化・地域」「言語と社会」「言語と心理」
「言語と教育」「言語」の各領域に関わる科目の中から履修。

Q 日本語教員とは？

- ・日本語を母語としない人に日本語を教える専門の教員です。
 - ・「日本語教員」は日本語教育人材の一つです。
- 留学生、技能実習生、外国人就労者、外国人児童、など多様な背景を持つ外国人の受け入れが進み、日本国内外での日本語教育の必要性がますます高まっています。
2024年4月からは国家資格「登録日本語教員」も施行され高い専門性が求められる職業となっています。

①日本語教員

国内や海外で日本語を学びたい人に日本語を教える人。

②日本語教育コーディネーター

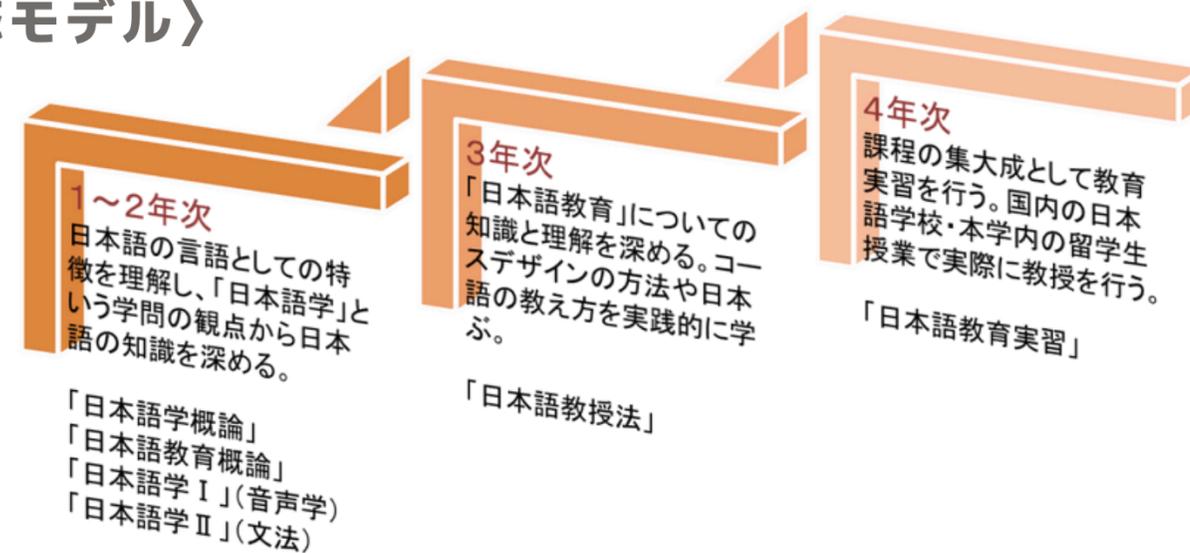
日本語教育が必要な人のための支援策を考えたり、教師の手配、関係先との調整などをする人。

③日本語学習支援者

地域の日本語教室などでボランティアとして日本語学習の手伝いをする人。

上記に加え、公立の小中学校、高校での外国人児童・生徒の日本語学習サポートをできる人材も求められています

〈必修科目の履修モデル〉



本学日本語教員養成課程は
国家資格『登録日本語教員』
経過措置に対応しています。
(Cルート、D-1ルート、D-2ルート)